

今月の主題 高血圧とその周辺

血圧はどうして調節されるか…独協医大 八木 繁
高血圧はどうして現われるか…群馬大 鳴谷 亮一

<高血圧症のピックアップ>

血圧の測り方……………日大 梶原 長雄
高血圧患者の血圧はこれだけ動く

……………岐阜大 平川 千里・他

高血圧患者の自覚症状……………横市大 守 一雄

<本態性高血圧と昇圧物質>

本態性高血圧とアルドステロン…東北大 吉永 馨

本態性高血圧とカテコラミン…神戸大 上羽 康之

本態性高血圧とレニン……………阪大 国府 達朗

本態性高血圧と電解質……………阪医大 柏井忠次郎

<二次性高血圧診断のポイント>

外来診療で二次性高血圧をどの

ようにして見出すか……………東北公済病院 鳥飼 龍生

腎血管性高血圧……………兵庫医大 河合 喜孝

原発性アルドステロン症……………東北大 佐藤 辰男

褐色細胞腫……………東大 佐藤 利平

<高血圧症と臓器変化>

尿所見からみた高血圧……………慈大 上田 泰・他

本態性高血圧の重症度……………東大 増山 善明

血圧値と予後……………兵庫医大 依藤 進

高血圧と腎臓……………九大 尾前 照雄・他

高血圧と心臓……………都養育院 杉浦 昌也

高血圧と脳……………浴風会病院 大友 英一

高血圧と眼底(カラー)……………日大 松井 瑞夫

<高血圧をどう取り扱うか>

老人性高血圧をどう取り扱うか……………県立島原温泉病院 喜々津良胤

脳卒中発作時の高血圧をどう取り扱うか……………北里大 澤田 徹

腎不全時の高血圧をどう取り扱うか……………金沢大 野村 岳而

冠不全時の高血圧をどう取り扱うか……………国立東一病院 岸本 道太

……………依藤 進・青木久三・額田忠篤

……………降圧剤の使い方……………柴田宣彦・黒瀬均二

<座談会>

……………依藤 進・青木久三・額田忠篤
……………柴田宣彦・黒瀬均二

小児の診察

聴診器の使い方……………都立府中病院 津田 淳一

検体の取扱い方と検査成績

穿刺液, 分泌物の微生物学的検査……………順大 小酒井 望

図解病態のしくみ

カルシウム代謝……………阪市大 森井 浩世

緊急室

静脈切開, 気管切開法……………自衛隊中央病院 川田 繁

くすり 経口糖尿病薬長期使用例からみた問題点

……………東大医大 水野 美淳

手術を考える時

腎外傷……………済生会神奈川病院 大原 憲

心電図講座・ヘミブロック 石川恭三/症例にみる精神身体医学(5) 石川中/臨床免疫カンファレンス

(4) 堀内篤ほか/診療相談室/私の本棚 相澤豊三

/オスラー博士の生涯 日野原重明/ある地方医の手紙/穴澤呟光/あとがき/サイクロペディア・メディ

チーナ

編集後記

●脾の診断技術の進歩によって、脾疾患の確診例が各地で増えてきているとはいっても、触診からもX線からも遠く、特有な所見にも欠けるとなると、まだ脾疾患は一般臨床家にとって手の届かない疾患ではあるまいか。たとえば長い間、上腹部の愁訴が続いたとしても、まず頻度の上から胃腸疾患を疑うのが当然であろうし、胃腸にも特有の所見がないとなれば、慢性胃炎くらいで片づけられることもあろう。したがって、初診から確診まで優に1年くらい経過してしまうこともざらにあるという。急性腹症の形で開腹されるケースはまだしも、そうでなければ、まず疑診をおくこと、あとは特殊検査に頼らざるを得ないのが現状のようである。

そこで本特集では、疑診をおくばあいの診断基準を、また特殊検査の限界と危険度などを中心にグラフを組み、また座談会では実地に即した処置について解説していただいた。さらに、脾はX線からも遠いといわれるものの、腹部単純撮影の段階ですでに脾石の存在が疑われている CPC など加えて、豊富な脾臓特集にすることができた。(H)